



# こちら、よんひがしです。

近畿中央病院  
産婦人科病棟  
2014年11月号  
VOL. 20

## 妊娠中のインフルエンザワクチンの接種について

インフルエンザの予防接種を受けましょう！

妊娠中にインフルエンザの予防接種を受けた方が良いのでしょうか。と、よく質問を受けます。皆さんが心配するのは副作用や胎児への影響を考えるとだと思います。しかし、現在のところ妊娠中のインフルエンザの予防接種に関する特別な副作用の報告はなく、妊娠初期に接種したとしても胎児に異常が出る確率が高くなるというような報告もありません。

### ★ 妊婦さんにインフルエンザの予防接種が勧められる理由

- ◇妊娠中にインフルエンザにかかると重症になりやすい（肺炎等を起こしやすい）です。特に、喘息等の呼吸器疾患や心疾患、糖尿病などの持病のある方は重症になりやすいので注意が必要です。
- ◇発熱に伴って流産・早産、子宮内胎児死亡が起こりやすくなる可能性があります。
- ◇妊娠末期にワクチン接種をすると胎児に抗体が移行し、生まれた赤ちゃんがインフルエンザにかかりにくいという報告もあります。

妊娠中は体質の変化によりワクチンによるアレルギーなどの副作用が出やすくなる可能性もあるためすべての妊婦さんに対して積極的に接種をお勧めすべきかどうかは議論があります。

### ★ 慎重になるべき理由

- ◇妊婦さん以外の全ての方に言えることですが、ワクチンの安全性は高いと言えますが副作用などの出現を考えると100%安全というわけではありません。

### ★ 予防接種を受けることをお勧めする方

- ◇喘息などの呼吸器疾患や心疾患、糖尿病などの持病がある方
- ◇日ごろから風邪を引きやすく、長引いたり高熱が出たりしやすい方
- ◇インフルエンザ患者に接する機会のある方（医療従事者、学校・幼稚園・保育所等で勤務されている方など）

### ★ 予防接種を受けることを慎重になるべき方

- ◇アレルギー体質の方

まず、ご家族の方に予防接種を受けてもらい、家庭内での感染を防ぐ努力をしましょう。インフルエンザの流行期には、外出時にマスクを着用すること、帰宅時には手洗い・うがいをおこなうことが大切です。

その上で、自身も予防接種を受けるかどうかは条件やそれぞれの事情を考慮した上で判断して頂きたいと思います。